



はなカフェ in 関

広報サポーター 後藤 麻紀さん



ました。

関町にある認知症カフェ[はなカフェ]にお伺いし ました。認知症カフェといっても、認知症の有無にか かわらず、どなたでも参加できる集いです。はなの家 の施設長で、認知症の人と家族の会三重県支部の亀 山地区世話人である坂倉さんが、チームオレンジ活 動の一環として立ち上げたそうです。

始めに、はなカフェのスタッフである落合さんと 利用者の男性による将棋の手合わせを見学しまし た。この男性、認知症の症状があるそうですが、将棋 を指しているときの眼差しは真剣で、このときは男 性の勝ちでした。落合さんによると、その男性とは毎

回いい勝負で、対局を重ね るにつれ一手一手が鋭く なってきていて、認知症の 方とはとても思えないと のことです。認知症になっ ても以前と変わらずでき



将棋の次は、カラオケです。まず、落合さんから始 まります。季節や行事、巷の話題などをテーマにし た歌で、「よろしく哀愁」や「矢切の渡し」などを披露 されました。その次は、利用者の皆さんの出番です。 懐かしい昭和の名曲、若い頃の想い出の曲や大好き な曲を披露されていました。皆さんに感想を伺うと、 「昔のことを思い出しながら歌うと懐かしい」、「皆さ んに会えて嬉しいし、毎月楽しみにしている」、「家に 閉じこもっているよりずっといい」など、ポジティブ な発言が聞けました。

認知症は誰もがなる可能性があり、決してひとご とではありません。認知症に対する理解が深まり、み んなが安心して暮らせるような社会を目指していく ことが必要だなと感じました。



₽ F

鉄っ雄ぉ

くん 令和2年7月10日生まれ



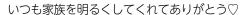


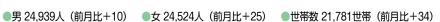
このコーナーでは、元気な亀山っ子の写真を 募集しています。掲載を希望する人は、

広報秘書グループ(☎84-5021) へご連絡ください

平成3年9月25日生まれ

たくさん遊んで元気に育ってね。







▲広報かめやま

市の人□ 11月1日現在 ●総人□ 49,463人(前月比+35)

第389号 令和3年12月1日 発行:亀山市 編集:総合政策部政策課広報秘書グループ 印刷:㈱アイブレーン 〒519-0195 三重県亀山市本丸町577番地 TEL 0595-82-1111代 FAX 0595-82-9955 ホームページ https://www.city.kameyama.mie.jp

広報かめやまは、古紙パルブ配合率80%、白色度80%の再生紙および植物油インキを使用しています。 **290** (Social Uthan Augustus) (District Control of Control